# Ⅱ調査結果の概要

## 1 発育状態

## (1) 身長

# ア 前年度との比較

- ・男子は、10歳、11歳、13歳、14歳、16歳及び17歳で前年度より高くなっている。 ・女子は、6歳、8歳、15歳及び16歳で前年度より高くなっている。

# イ全国平均値との比較・里子は

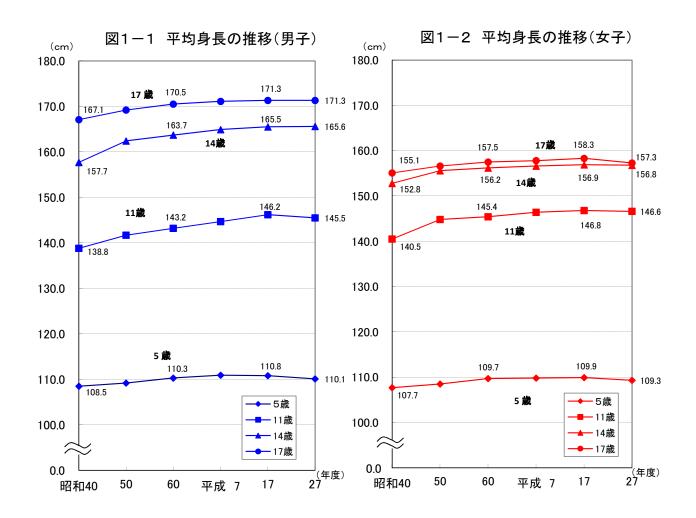
- ・男子は、7歳、10~14歳、16歳及び17歳で全国平均値を上回っている。 ・女子は、6歳、8歳及び14歳で全国平均値を上回っている。

## ウ 30年前(親の世代)との比較

- ・男子は、5歳で低く、6歳で同水準となっているほかは、30年前より高くなっている。
- ・女子は、5歳、15歳及び17歳で低く、16歳で同水準となっているほかは、30年前より高くなっている。
- ・最も伸びの大きい年齢は、男子は12歳(152.7cm)と13歳(160.6cm)で2.5cm、女子は11歳(146.6cm)で 1.2cm高くなっている。

#### エ 男子と女子の比較

・10歳及び11歳で、女子が男子を上回っている。



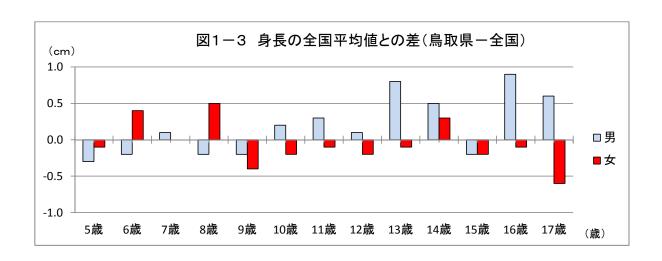


表1 年齢別 身長の平均値

(単位:cm)

	区	分	平成27年度 (A)	平成26年度 (B)	前年との差 (A-B)	全国(H27) (C)	全国との差 (A-C)	30年前(親の世代) (D)	親の世代との差 (A-D)
	幼稚園	5歳	110.1	110.4	-0.3	110.4	-0.3	110.3	-0.2
		6歳	116.3	116.3	0.0	116.5	-0.2	116.3	0.0
		7歳	122.6	122.7	-0.1	122.5	0.1	121.9	0.7
	小学	8歳	127.9	128.0	-0.1	128.1	-0.2	127.1	0.8
	校	9歳	133.3	133.4	-0.1	133.5	-0.2	132.2	1.1
男 子		10歳	139.1	138.7	0.4	138.9	0.2	137.8	1.3
子		11歳	145.5	145.0	0.5	145.2	0.3	143.2	2.3
	中	12歳	152.7	152.9	-0.2	152.6	0.1	150.2	2.5
	学	13歳	160.6	160.0	0.6	159.8	0.8	158.1	2.5
	校	14歳	165.6	165.5	0.1	165.1	0.5	163.7	1.9
	高等学	15歳	168.1	169.3	-1.2	168.3	-0.2	167.6	0.5
		16歳	170.7	170.1	0.6	169.8	0.9	169.8	0.9
	校	17歳	171.3	171.1	0.2	170.7	0.6	170.5	0.8
	幼稚園	5歳	109.3	109.5	-0.2	109.4	-0.1	109.7	-0.4
		6歳	115.9	115.4	0.5	115.5	0.4	115.8	0.1
		7歳	121.5	121.8	-0.3	121.5	0.0	121.1	0.4
	小学	8歳	127.8	127.5	0.3	127.3	0.5	126.7	1.1
	校	9歳	133.0	133.3	-0.3	133.4	-0.4	132.0	1.0
女 子		10歳	139.9	140.4	-0.5	140.1	-0.2	139.6	0.3
子		11歳	146.6	147.4	-0.8	146.7	-0.1	145.4	1.2
	中	12歳	151.6	152.0	-0.4	151.8	-0.2	150.8	0.8
	学	13歳	154.8	155.1	-0.3	154.9	-0.1	154.6	0.2
	校	14歳	156.8	156.8	0.0	156.5	0.3	156.2	0.6
	高	15歳	156.9	156.8	0.1	157.1	-0.2	157.3	-0.4
	等学	16歳	157.5	157.4	0.1	157.6	-0.1	157.5	0.0
	校	17歳	157.3	158.4	-1.1	157.9	-0.6	157.5	-0.2

※30年前(親の世代)は、昭和60年度の数値である。

## (2) 体重

#### ア 前年度との比較

- ・男子は、6歳、9歳、10歳及び12~17歳で前年度より増加している。
- ・女子は、5歳、6歳、8歳、12歳、14歳及び15歳で前年度より増加している。

## イ 全国平均値との比較

- ・男子は、6歳、7歳、13歳、14歳及び16歳で全国平均値を上回っている。
- ・女子は、6歳、8歳、12歳及び14歳で全国平均値を上回っている。

#### ウ 30年前(親の世代)との比較

- ・男子は、5歳で減少しているほかは、30年前より増加している。
- ・女子は、5歳及び15~17歳で減少し、10歳で同水準となっているほかは、30年前より増加している。
- ・最も伸びの大きい年齢は、男子は12歳(43.9kg)で2.6kg、女子は8歳(27.1kg)で1.3kg重くなっている。

# エ 男子と女子の比較

・8歳及び11歳で、女子が男子を上回っている。

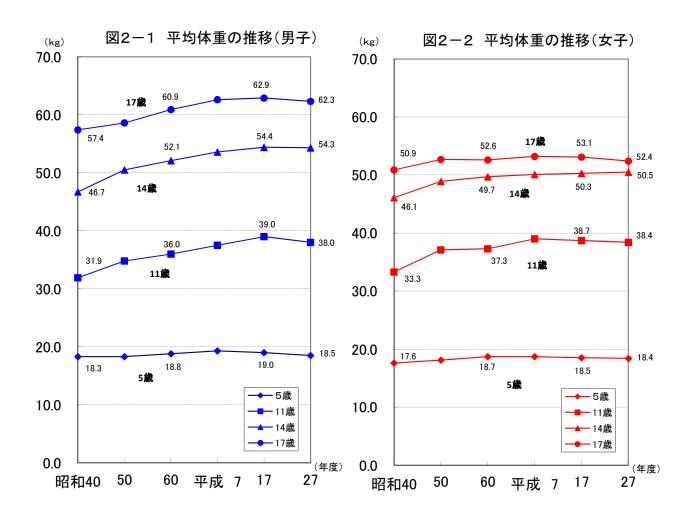




表2 年齢別 体重の平均値

(単位:kg)

	区分		平成27年度 (A)	平成26年度 (B)	前年との差 (A-B)	全国(H27) (C)	全国との差 (A-C)	30年前(親の世代) (D)	親の世代との差 (A-D)
	幼稚園	5歳	18.5	18.8	-0.3	18.9	-0.4	18.8	-0.3
		6歳	21.5	21.2	0.3	21.3	0.2	21.0	0.5
		7歳	24.1	24.2	-0.1	23.9	0.2	23.4	0.7
	小学	8歳	26.6	26.7	-0.1	26.9	-0.3	25.7	0.9
	校	9歳	30.0	29.6	0.4	30.4	-0.4	29.0	1.0
男子		10歳	33.7	33.3	0.4	34.0	-0.3	32.6	1.1
子		11歳	38.0	38.2	-0.2	38.2	-0.2	36.0	2.0
	中	12歳	43.9	43.7	0.2	43.9	0.0	41.3	2.6
	学	13歳	49.1	49.0	0.1	48.8	0.3	47.2	1.9
	校	14歳	54.3	54.0	0.3	53.9	0.4	52.1	2.2
	高等学校	15歳	59.0	58.5	0.5	59.0	0.0	57.0	2.0
		16歳	61.3	60.2	1.1	60.6	0.7	60.8	0.5
		17歳	62.3	62.1	0.2	62.5	-0.2	60.9	1.4
	幼稚園	5歳	18.4	18.3	0.1	18.5	-0.1	18.7	-0.3
	_	6歳	20.9	20.8	0.1	20.8	0.1	20.8	0.1
		7歳	23.4	23.5	-0.1	23.4	0.0	22.9	0.5
	小学	8歳	27.1	26.4	0.7	26.4	0.7	25.8	1.3
	校	9歳	29.6	29.7	-0.1	29.7	-0.1	28.5	1.1
女 子		10歳	33.6	33.8	-0.2	33.9	-0.3	33.6	0.0
子		11歳	38.4	39.0	-0.6	38.8	-0.4	37.3	1.1
	中	12歳	43.9	43.5	0.4	43.6	0.3	42.8	1.1
	学	13歳	47.0	47.5	-0.5	47.3	-0.3	46.7	0.3
	校	14歳	50.5	50.4	0.1	49.9	0.6	49.7	0.8
	高	15歳	51.3	50.2	1.1	51.5	-0.2	51.9	-0.6
	等学校	16歳	51.7	52.9	-1.2	52.6	-0.9	52.8	-1.1
	校	17歳	52.4	53.1	-0.7	53.0	-0.6	52.6	-0.2

※30年前(親の世代)は、昭和60年度の数値である。

#### (3) 座高

#### ア 前年度との比較

- ・男子は、5~7歳、10歳、11歳、13歳、14歳及び16歳で前年度より高くなっている。
- ・女子は、5歳、6歳、8歳及び15歳で前年度より高くなっている。

#### イ 全国平均値との比較

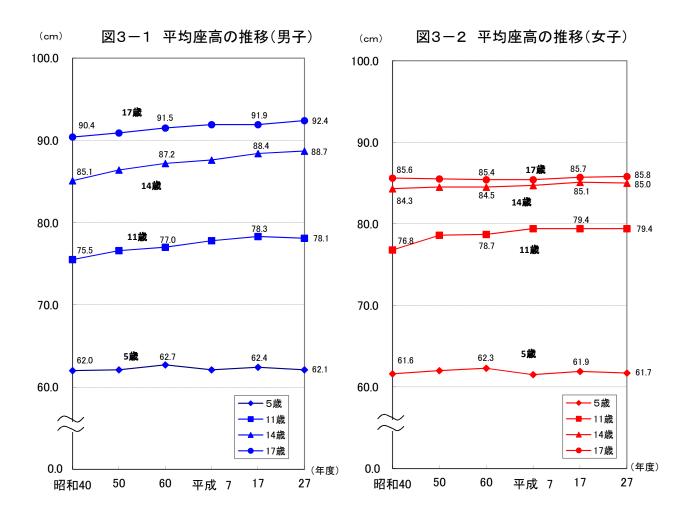
- ・男子は、6歳及び8歳で同水準のほかは、全国平均値を上回っている。
- ・女子は、13歳、16歳及び17歳で下回り、9歳、10歳、12歳及び15歳で同水準となっているほかは、全国 平均値を上回っている。

## ウ 30年前(親の世代)との比較

- ・男子は、5歳、6歳で低く、8歳で同水準となっているほかは、30年前より高くなっている。
- ・女子は、5~7歳、10歳及び15歳で低くなっているほかは、30年前より高くなっている。
- ・最も伸びの大きい年齢は、男子は13歳(85.7cm)と14歳(88.7cm)で1.5cm、女子は11歳(79.4cm)で0.7cm 高くなっている。

#### エ 男子と女子の比較

・10~12歳で女子が男子を上回っている。



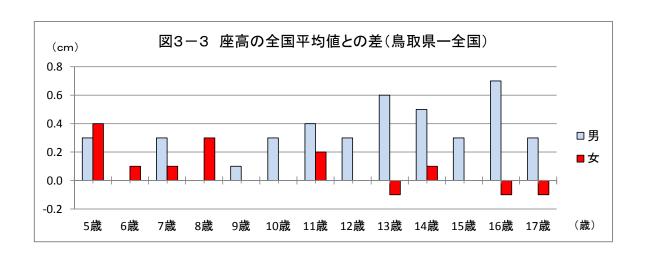


表3 年齢別 座高の平均値

(単位:cm)

	区分		平成27年度 (A)	平成26年度 (B)	前年との差 (A-B)	全国(H27) (C)	全国との差 (A-C)	30年前(親の世代) (D)	親の世代との差 (A-D)
	幼稚園	5歳	62.1	61.9	0.2	61.8	0.3	62.7	-0.6
		6歳	64.8	64.7	0.1	64.8	0.0	65.3	-0.5
		7歳	67.9	67.7	0.2	67.6	0.3	67.7	0.2
	小	8歳	70.2	70.3	-0.1	70.2	0.0	70.2	0.0
	学校	9歳	72.7	72.7	0.0	72.6	0.1	72.4	0.3
男子		10歳	75.2	75.0	0.2	74.9	0.3	74.7	0.5
子		11歳	78.1	78.0	0.1	77.7	0.4	77.0	1.1
	中	12歳	81.7	81.8	-0.1	81.4	0.3	80.4	1.3
	学校	13歳	85.7	85.4	0.3	85.1	0.6	84.2	1.5
		14歳	88.7	88.5	0.2	88.2	0.5	87.2	1.5
	高等学校	15歳	90.7	91.2	-0.5	90.4	0.3	89.9	0.8
		16歳	92.1	91.8	0.3	91.4	0.7	91.1	1.0
		17歳	92.4	92.4	0.0	92.1	0.3	91.5	0.9
	幼稚園	5歳	61.7	61.5	0.2	61.3	0.4	62.3	-0.6
		6歳	64.5	64.3	0.2	64.4	0.1	65.1	-0.6
		7歳	67.3	67.4	-0.1	67.2	0.1	67.4	-0.1
	小学	8歳	70.2	70.1	0.1	69.9	0.3	70.0	0.2
	校	9歳	72.7	72.7	0.0	72.7	0.0	72.5	0.2
女 子		10歳	75.8	76.1	-0.3	75.8	0.0	75.9	-0.1
子		11歳	79.4	79.7	-0.3	79.2	0.2	78.7	0.7
	中	12歳	82.1	82.5	-0.4	82.1	0.0	81.8	0.3
	学	13歳	83.8	84.0	-0.2	83.9	-0.1	83.6	0.2
	校	14歳	85.0	85.1	-0.1	84.9	0.1	84.5	0.5
	高	15歳	85.5	85.4	0.1	85.5	0.0	85.7	-0.2
	等学	16歳	85.6	85.8	-0.2	85.7	-0.1	85.4	0.2
	校	17歳	85.8	86.2	-0.4	85.9	-0.1	85.4	0.4

※30年前(親の世代)は、昭和60年度の数値である。

## 2 健康状態(疾病・異常の被患率等状況)

#### (1)前年度との比較

#### ア 裸眼視力1.0未満

- ・県全体の割合は、小学校及び中学校では前年度より増加し、幼稚園では減少している。 男女別にみると、男子、女子ともに小学校及び中学校では前年度より増加し、女子の幼稚園では減少している。
- ・男女を比較すると、幼稚園、小学校及び中学校において女子が男子より高くなっている。

#### イ むし歯(う歯)

- ・県全体の割合は、高等学校では前年度より増加し、幼稚園、小学校及び中学校では減少している。 男女別にみると、男子、女子ともに高等学校では前年度より増加し、小学校及び中学校では減少している。
- ・男女を比較すると、幼稚園及び小学校では男子が女子より高く、中学校及び高等学校では女子が男子より高くなっている。

## ウ ぜん息

- ・県全体の割合は、幼稚園及び高等学校では前年度より増加し、小学校及び中学校では減少している。 男女別にみると、男子、女子ともに幼稚園及び高等学校では前年度より増加し、小学校及び中学校では減少している。
- ・男女を比較すると、全ての学校区分において男子が女子より高くなっている。

## エ 鼻・副鼻腔疾患

- ・県全体の割合は、中学校では前年度より増加し、幼稚園、小学校及び高等学校では減少している。 男女別にみると、男子、女子ともに中学校では前年度より増加し、幼稚園及び小学校では減少している。
- ・男女を比較すると、幼稚園を除く全ての学校区分において男子が女子より高くなっている。

# オ アトピー性皮膚炎

・県全体の割合は、中学校及び高等学校では前年度より増加し、幼稚園及び小学校では減少している。 男女別にみると、男子、女子ともに中学校及び高等学校では前年度より増加し、幼稚園及び小学校では減少している。 ・男女を比較すると、全ての学校区分において男子が女子より高くなっている。

## 表4 健康状態の前年度との比較(鳥取県)

(畄位:%)

										(-	<u> </u>
区	分	裸眼視力	1. 0未満	むし歯	(う歯)	ぜん	心息	鼻·副鼻	腔疾患	アトピー	性皮膚炎
	71	平成27年度	平成26年度								
	幼稚園	15.7	22.3	37.1	38.0	2.1	1.8	_	1.0	2.5	4.0
県計	小学校	32.2	31.7	56.1	57.8	4.9	5.2	13.7	17.7	5.2	5.9
<b>州</b> 印	中学校	59.1	57.3	43.3	47.9	3.1	3.6	18.7	14.7	3.8	3.4
	高等学校	X	66.2	55.9	53.6	2.2	1.8	8.8	9.9	3.2	2.5
	幼稚園	13.7	X	40.8	40.5	2.7	2.6	ı	1.5	3.2	4.2
男 子	小学校	29.0	28.5	58.2	59.8	6.0	6.4	16.9	22.2	5.7	6.0
子	中学校	54.4	53.3	43.2	46.0	3.6	4.3	22.3	17.4	4.2	3.6
	高等学校	X	65.3	53.8	50.8	2.4	1.9	9.9	12.9	3.7	2.5
	幼稚園	17.6	20.2	33.4	35.4	1.5	0.9	1	0.5	1.9	3.8
女 子	小学校	35.6	35.0	53.9	55.7	3.8	4.0	10.4	13.1	4.7	5.7
子	中学校	63.9	61.6	43.4	49.9	2.5	3.0	15.0	12.0	3.4	3.2
	高等学校	71.4	X	58.1	56.5	2.0	1.7	7.6	6.8	2.6	2.5

- (注)1 この表は、疾病・異常該当者(疾病・異常に該当する旨健康診断票に記載があった者)の割合の推定値を示したものである。
  - 2 「X」はサンプル数が少なく、誤差が大きい(標準誤差が5%以上)ため統計数値を公表しない。
  - 3「-」は該当者がいない。
  - 4 むし歯(う歯)には、処置完了者も含む。

#### (2)全国平均値との比較

#### ア 裸眼視力1.0未満

- ・県全体の割合は、幼稚園では全国平均値より低く、小学校及び中学校では高くなっている。
- ・男女別にみると、男子、女子ともに幼稚園では全国平均値より低く、小学校及び中学校では高くなっている。

#### イ むし歯(う歯)

- ・県全体の割合は、全ての学校区分において全国平均値より高くなっている。
- ・男女別にみると、女子の幼稚園で全国平均値より低いほかは、全ての学校区分において高くなっている。

#### ウ ぜん息

- ・県全体の割合は、小学校、中学校及び高等学校では全国平均値より高くなっている。
- ・男女別にみると、男子、女子ともに小学校及び高等学校で全国平均値より高くなっている。

## エ 鼻・副鼻腔疾患

- ・県全体の割合は、幼稚園では全国平均値より低く、小学校、中学校及び高等学校では高くなっている。
- ・男女別にみると、男子、女子ともに幼稚園では全国平均値より低く、小学校、中学校及び高等学校では高くなっている。

## オ アトピー性皮膚炎

- ・県全体の割合は、小学校、中学校及び高等学校では全国平均値より高くなっている。
- ・男女別にみると、女子の幼稚園では全国平均値より低いほかは、全ての学校区分において高くなっている。

## 表5 健康状態の全国平均値との比較

(単位:%)

区	分	裸眼視力	1. 0未満	むし歯(う歯)		ぜん息		鼻•副鼻	腔疾患	アトピー性皮膚炎	
		鳥取県	全国	鳥取県	全国	鳥取県	全国	鳥取県	全国	鳥取県	全国
	幼稚園	15.7	26.82	37.1	36.23	2.1	2.14	_	3.57	2.5	2.52
県計	小学校	32.2	30.97	56.1	50.76	4.9	3.95	13.7	11.91	5.2	3.52
不印	中学校	59.1	54.05	43.3	40.49	3.1	3.00	18.7	10.61	3.8	2.72
	高等学校	Х	63.79	55.9	52.49	2.2	1.93	8.8	7.34	3.2	2.05
	幼稚園	13.7	25.92	40.8	37.37	2.7	2.68	-	4.51	3.2	2.75
男 子	小学校	29.0	27.80	58.2	52.35	6.0	4.77	16.9	14.60	5.7	3.84
子	中学校	54.4	49.44	43.2	38.99	3.6	3.68	22.3	12.42	4.2	2.99
	高等学校	Х	61.22	53.8	50.69	2.4	2.13	9.9	8.05	3.7	2.20
	幼稚園	17.6	27.74	33.4	35.06	1.5	1.58	ı	2.62	1.9	2.28
女 子	小学校	35.6	34.29	53.9	49.10	3.8	3.08	10.4	9.08	4.7	3.18
子	中学校	63.9	59.00	43.4	42.05	2.5	2.28	15.0	8.72	3.4	2.42
	高等学校	71.4	66.33	58.1	54.32	2.0	1.73	7.6	6.62	2.6	1.90

- (注)1 この表は、疾病・異常該当者(疾病・異常に該当する旨健康診断票に記載があった者)の割合の推定値を示したものである。
  - 2 「X」はサンプル数が少なく、誤差が大きい(標準誤差が5%以上)ため統計数値を公表しない。
  - 3 「-」は該当者がいない。
  - 4 むし歯(う歯)には、処置完了者も含む。

## (3)30年前(親の世代)との比較

## ア 裸眼視力1.0未満

・小学校及び中学校では30年前より増加し、幼稚園では減少している。

## イ むし歯(う歯)

・全ての学校区分において30年前より減少している。

## ウ ぜん息

・全ての学校区分において30年前より増加している。

表6 健康状態の30年前(親の世代)との比較(鳥取県)

(単位:%)

区	分	裸眼視力	1. 0未満	むし歯	(う歯)	ぜん息		
	73	平成27年度	30年前	平成27年度	30年前	平成27年度	30年前	
幼稚	惟園	15.7	21.1	37.1	86.3	2.1	0.6	
小鱼	学 校	32.2	18.0	56.1	95.9	4.9	1.1	
中台	学校	59.1	35.5	43.3	95.7	3.1	0.8	
高等	学校	X	53.0	55.9	97.2	2.2	0.3	

<sup>(</sup>注)1 この表は、疾病・異常該当者(疾病・異常に該当する旨健康診断票に記載があった者)の割合の推定値を示したものである。

<sup>2 「</sup>X」はサンプル数が少なく、誤差が大きいため統計数値を公表しない。

<sup>3</sup> むし歯(う歯)には、処置完了者も含む。

<sup>4 30</sup>年前(親の世代)は、昭和60年度の数値である。